



自己紹介

大淵由貴（おおぶちゆき）1988年東京都江戸川区出身。千葉大学法経学部総合政策学科卒。大学時代は環境NGOの活動に従事、また休学してバンクーバーでワーホリを経験。卒業後、電機メーカーで5年間営業を勤め、会社を退職して青年海外協力隊としてマダガスカルで活動中。

変わり種 オレンジの皮サラダ

食堂を営んでいる友人がオレンジの皮（皮が食べられる種類がありません）に玉ねぎ、パクチーを加え、油、塩、砂糖、レモン汁であえたサラダを作ってくれました。近所の食堂は皆が食べ慣れた同じメニューばかり。（サラダならニンジンかトマトか…）友人も他の食堂と似たり寄ったりなメニューを提供していますが、実は創作料理好き。この創作意欲が商売繁盛に繋がればなあと思います。



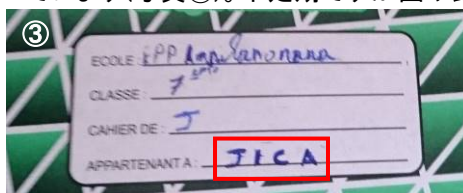
アンズズルベ祭りのその後…

～教育系行政機関から各学校へノート配布～

通信 vol37 でお伝えしたアンズズルベ祭りの目的は、「市内の公立小学校に通う小学校卒業認定試験を受ける生徒に、ノートを配布するための資金を集める」ことでした。後日、お祭りの収益を使いノート、ペン、チョークを購入。先生が集まる機会を利用し、教育系行政機関職員から各学校へノート等の配布(写真①)を実施しました。



。過不足がないよう、校長先生に小学校卒業認定試験を受験する生徒数を確認し、受領のサインをもらいます(写真②)。配布が完了したので、使用状況を覗きに小学校を訪問。ノートの用途は各学校に委ねていますが、「試験に向けた復習授業用ノート」「模擬試験用ノート」などに利用されていました。とある学校ではノートの表紙に「JICA」と書かせています(写真③)。



不定期ですが国や銀行などから学用品の配布が行われることがあります。それと差別化してくれているのは嬉しいですが、私たち隊員としてはあくまでも「教育系行政機関主催のお祭りの利益」で購入したもので、日本人からのプレゼントではないという思いがあります。



いずれにせよ、配布したノートが生徒の手に渡り(写真④)、役に立っているようなのでアンズズルベ祭りの目標は達成です！改めて、ご協力いただいた皆様に感謝を申し上げます。

モリンガ講習会のその後…

通信 vol34 でお伝えしたモリンガ講習会では、モリンガの特徴の説明と料理講習の後、種をプレゼントしました。乾季の現在は気温が低く雨も少ないので栽培に最も適した時期ではありませんが、一人のマダムが栽培にチャレンジしてくれていました。6粒植え、4粒発芽、そのうち3つの芽はニワトリに食べられてしまい、残り1つが現在2か月ほど成長中です。ちょっと心許ない姿ではありますが、何とか植え替えられるくらいまでになってくれればと思います。

